この説明書をよく読んで
ご使用ください

3年保証

アッセンション B17L/B17R

ベーシック B18

(JP) ロープクランプ
(EN) Rope clamp
(FR) Bloqueur
(DE) Seilklemme
(IT) Bloccante

B17 196 g   B18 136 g

個別テスト済み

警告

この製品を使用する高所作業には危険が伴います。作業中の行為、判断についてはユーザー各自がその責任を負うこととします。

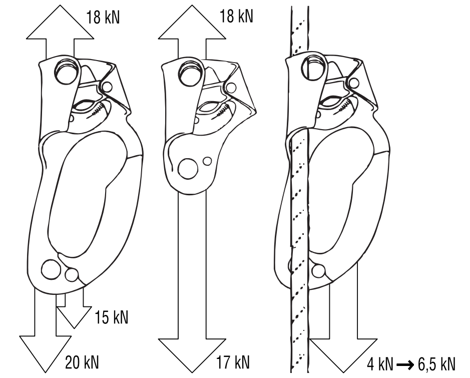
この製品は、高所作業に伴う危険について理解し、承知の上で使用してください。

使用する前に必ず：

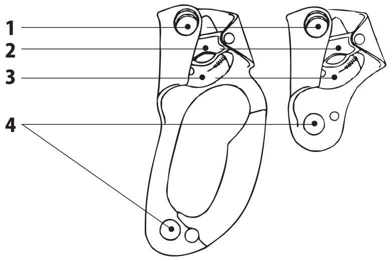
- 取扱説明書をよく読み、理解してください
- この製品の機能とその限界について理解してください

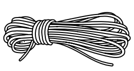
また、この製品を正しく使用するための適切な説明や指導を受けることを勧めます。

これらの注意事項を無視または軽視すると、重度の傷害や死につながる場合があります。



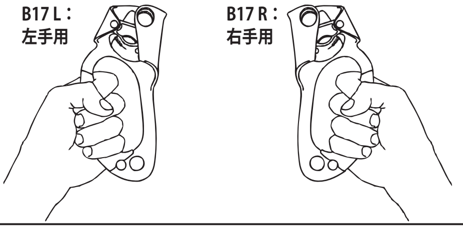
各部の名称



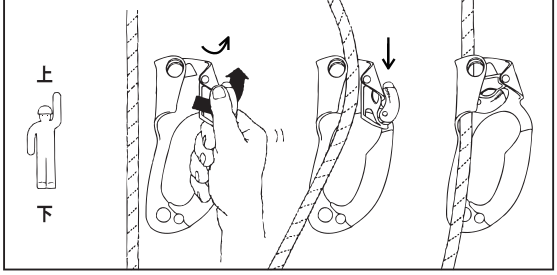


ロープ (コア + シース) Φ 8 ～ 13mm の ロー ストレッチ (EN 1891) または ダイナミック (EN 892)

B17 L：左手用   **B17 R：右手用**

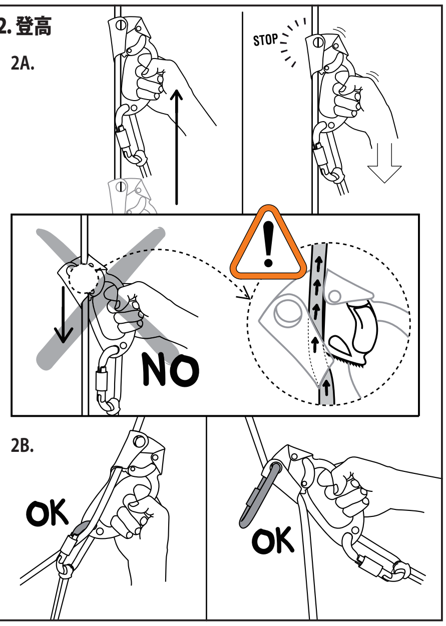


1. ロープのセット方法



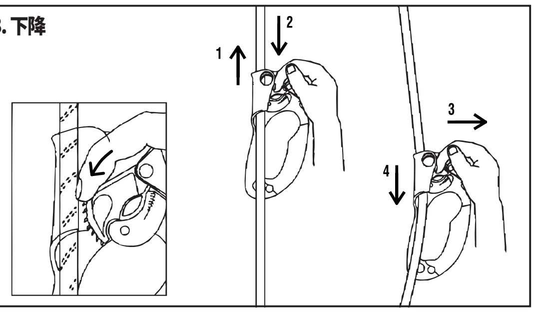
2. 登高

2A.



2B.

3. 下降



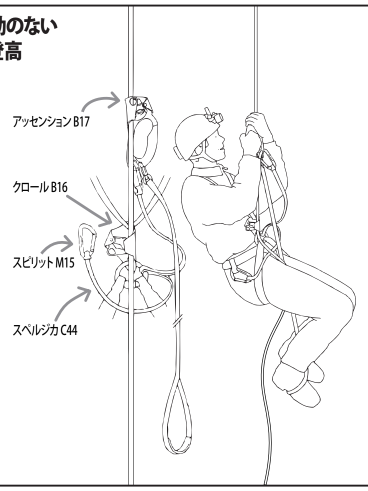
4. 構造物による補助のない状態でのロープ登高

アクセサリー

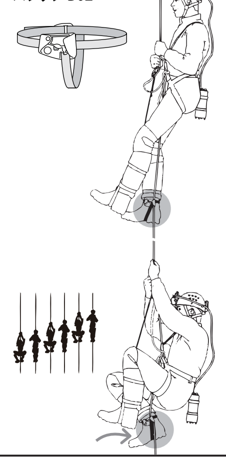
フットテープ C47
ロープクランプ用調節式
ウェビングフットループ

フットコード C48
ロープクランプ用調節式
コードフットループ

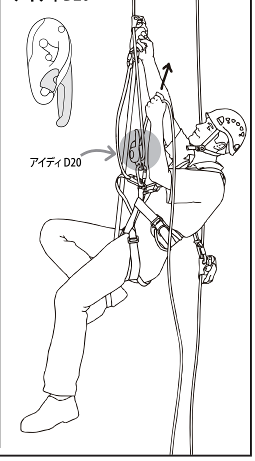
フットプロ C49
マイロンスピーディ付き
ロープクランプ用調節式
ウェビングフットループ



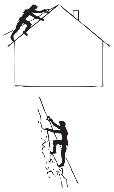
パンタン B02

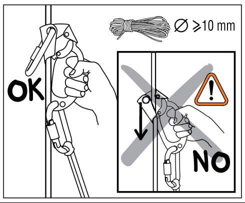


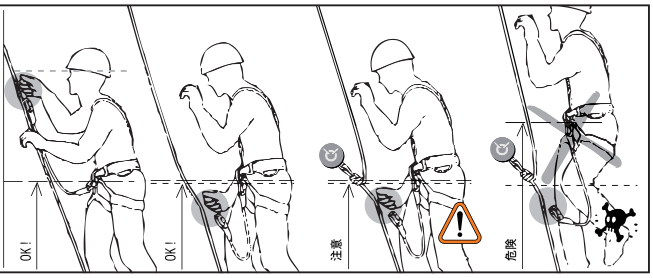
アイディ D20



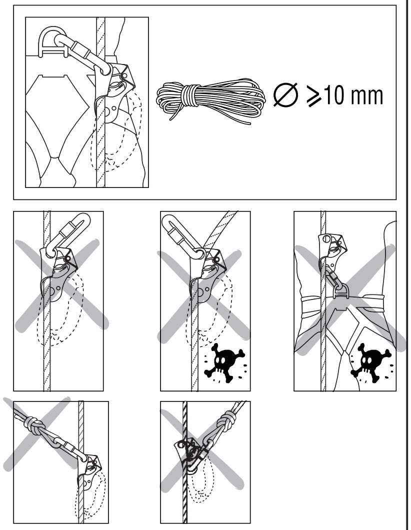
5. 構造物による補助がある状態でのロープ登高



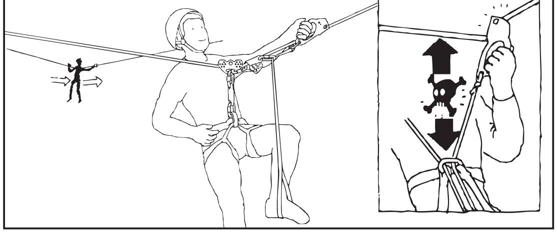




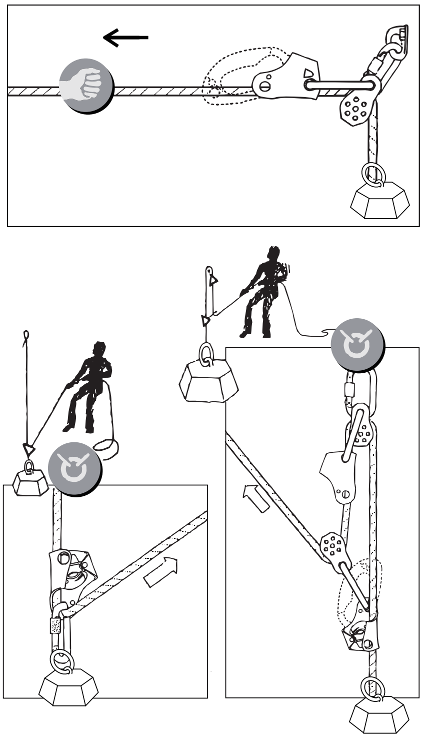
6. ロープをバックアップとして構造物を登る場合：セルフビレイ



7. 水平方向の移動



8. ホーリングシステム



ISO 9001
PETZL / F 38920 Crolles
www.petzl.com

Copyright Petzl
Printed in Japan

アッセンションの NFPA 認証
B17L, B17R (B17RN)

以下の事項は、本体に ”MEETS NFPA…” と記載されている製品にのみ適用されます。

アッセンションは NFPA1983 (STANDARD ON LIFE SAFETY ROPE AND EQUIPMENT FOR EMERGENCY SERVICES 2006 Edition) の補助装備に関する必要事項を満たしています。

最小破断強度 5 kN
L (LIGHT USE)
NFPA 1983 (2006 年版) に適合

45YF

必ず NFPA の LIGHT USE LIFE SAFETY ROPE または GENRAL USE LIFE SAFETY ROPES の認証を受けた直径 11 ～ 13mm のロープを使用してください。

取扱説明書は必ずコピーをとってください。原本は、製品の使用および点検の履歴を記入し、大切に保管してください。
取扱説明書のコピーは製品とともに保管し、毎回使用前と使用後に参照してください。併用する器具等に関するその他の情報については、NFPA1500 (Standard on Fire Department Occupational Safety and Health Program) と NFPA1983 (Standard on Fire Service Life Safety Rope and System Components) を参照ください。

備考 :
ベーシック（B18）は NFPA の認証を受けていません

関連するヨーロッパ基準について

EN 12841 2006 規格についての補足事項

『アッセンション』
タイプ B ロープアジャストメントデバイス

用途について
EN 12841 2006 に適合した『アッセンション』はタイプ B のロープアジャストメントデバイスで、作業ロープの登高に使用します。
警告 :『アッセンション』は、必ずバックアップロープにセットしたモバイルフォールアレスター『アサップ』等のバックアップ器具と併用してください。
ロープクランプ『アッセンション』は、EN 363 に準じたフォールアレストシステムでの使用には適していません。

適合性
EN 12841 2006 type A の要求事項を満たすためには、EN 1891 type A に適合した直径 10 ～ 13mm のセミスタティックロープを使用しなければなりません。(認証テストではベアール『Antipodes 10 mm』、エーデルワイス『Rescue 13 mm』が使用されました)
EN 12841 の要求事項を満たすためには、器具 + コネクター + ランヤードの長さが 1 m を超えないようにしてください。
ロープクランプと併用する器具 (アンカー、ロッキングコネクター、アブソーバー等) は全て EN 規格に適合していなければなりません。

EN 12841
墜落の危険を制限するため、ロープ (器具と吊り元の間) はたるませず、常にテンションがかかった状態を保つ必用があります。
バックアップロープを、ワークポジショニングのために使用しないでください。
衝撃荷重によってロープはダメージを受けます。
最大許容荷重 : 100 kg

EN 365
支点 : 高所作業
システム用の支点はユーザーの体より上にとるようにしてください。支点は、最低でも 10 kN の破断強度を持ち、EN 795 基準を満たしていなければなりません。

トレーサビリティとマーキング
製品に記載されたマーキングが、使用期間中識別できる状態にあるよう注意してください。

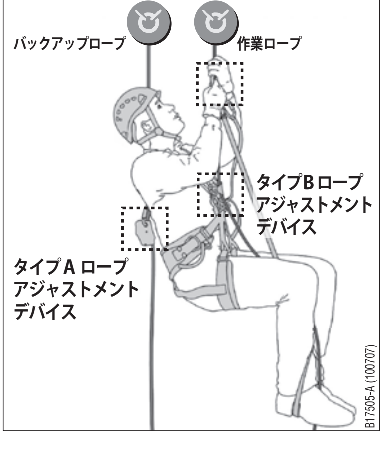
その他
- **警告、危険 :** 製品がざらざらした箇所や尖った箇所でこすれないように注意してください
- **警告 :** 複数の器具を同時に使用する場合、1 つの器具の安全性が、別の器具の使用によって損なわれることがあります。

マーキング :

CE 0197
EN 12841 : 2006 B
墜落からの保護を目的とした個人保護用具 - ロープアクセスシステム - ロープアジャストメントデバイス
作業ロープ用アッセンダー
⊙ ∅ 10 - 13 mm
最大許容荷重 100 kg
EN 1891, type A ropes

CE 適合評価試験公認機関
Notified body intervening for the CE type examination
Organisme notifié intervenant pour l'examen CE de type
Zertifizierungsorganisation für die CE-Typenüberprüfung
Ente riconosciuto che interviene per l'esame CE del tipo

APAVE SUD Europe
BP 193, 13322
Marseille Cedex 16
N°0082



取扱説明

ロープクランプ

用途について
この製品は個人保護用具 (PPE) です。この製品は、ロープ登高のためのロープクランプです。
製品に表示された破断強度以上の荷重をかける使用や、本来の用途以外での使用は絶対に避けてください。図に示された使用方法の中で、×印やドクロマークが付いていないものだけが認められています。最新の取扱説明書はウェブサイト (www.alteria.co.jp) で参照できますので、定期的に確認してください。疑問点や不明な点は (株) アルテリア (TEL04-2969-1717) にご相談ください。

警告
この製品を使用する高所での活動には危険が伴います。ユーザー各自が自身の行為、判断についてその責任を負うこととします。
使用する前に必ず :
- 取扱説明書をよく読み、理解してください
- この製品を正しく使用するための適切な指導を受けてください
- この製品の機能とその限界について理解してください
- 高所での活動に伴う危険について理解してください

これらの注意事項を無視または軽視すると、重度の障害や死につながる場合があります。

責任
警告 : 使用前に適切なトレーニングが必要です
この製品は使用方法を熟知していて責任能力のある人、あるいはそれらの人から目の届く範囲で直接指導を受けられる人のみ使用してください。
ユーザーは各自の責任で適切な技術及び確保技術を習得する必要があります。
誤った方法での使用中及び使用後に生ずるいかなる損害、傷害、死亡に関してもユーザー各自がそのリスクと責任を負うこととします。各自で責任がとれない場合や、その立場にない場合はこの製品を使用しないでください。

各部の名称
(1) アッパーホール (2) カム (3) セーフティキャッチ
(4) ロワーホール

主な素材: アルミニウム合金 (本体)、クロムメッキスチール (カム)、ポリアミド (セーフティキャッチ)

ロープの直径
ロープクランプ『アッセンション』及び『ベーシック』は、UIAA 及び EN 基準を満たす直径 8 ～ 13mm のカーンマントルロープに使用できます。墜落の危険がある場合は、必ず直径 10mm 以上のロープを使用してください。

点検のポイント
毎回、使用前に、本体、アタッチメントホール、カム及びセーフティキャッチに亀裂、傷、変形、磨耗、腐食等がないことを確認し、カムのスプリングと軸の状態を点検してください。カムの歯が磨り減っていないことを確認してください。警告 : カムの歯が欠けている場合は使用しないでください。
各 PPE (個人保護用具) の点検方法の詳細についてはペツルのウェブサイト (www.petzl.com/ppe) もしくは PETZL PPE CD-ROM を参照ください。
もしこの器具の状態に関する疑問があれば、(株) アルテリア (TEL : 04-2969-1717) にご相談ください。

使用方法

図 1. ロープのセット方法
上下の向きを示す目印に注意して正しい向きにセットしてください。親指でセーフティキャッチを引き、本体に掛けます。これでカムが開いた状態でロックされます。ロープを挿入します。セーフティキャッチをロック状態から解除し、カムがロープを押さえていることを確認してください。セーフティキャッチは不意にカムが解除されるのを防ぎます。ロープから取り外すには、器具を上にスライドさせながらセーフティキャッチを引き、カムを解除してください。

機能の確認
器具をロープにセットし、荷重がかかる方向に引いてカムがロープをロックすることを確認してください。

注意
カムの動きを妨げる可能性があるため、小石、小枝、ウェビング等が挟まらないように注意してください。衣服やウェビング等にセーフティキャッチが引っかからないよう注意してください。

図 2. 登高
2A. 器具を手に持った状態
必ずロープと平行な向きに荷重をかけるようにしてください。ロープ上で器具が滑ることを防ぐため、角度を付けて荷重をかけないでください。

2B. 角度が付いた状態で荷重がかかることを防げない場合は、ランヤードとアッセンダーを連結しているカラビナにロープをクリップするか、2 つのアッパーホールに別のカラビナをクリップしてください。

図 3. 下降

図 4. 構造物による補助のない状態でのロープ登高

図 5. 構造物による補助がある状態でのロープ登高
ロープによる衝撃吸収 :
墜落が起こった際に衝撃を吸収するのはロープです。ロープの衝撃吸収力はアンカーポイントに近づくにつれて下がり、最終的にゼロになります。

図 6. ロープをバックアップとして構造物を登る場合 : セルフビレイ

図 7. 水平方向の移動

図 8. ホーリングシステム
警告 : 荷重がかかった状態でロックを解除するにはホーリングシステムの技術が必要です。

一般注意事項

耐用年数
ペツル製品の耐用年数は以下の通りです :
プラスチック製品、繊維製品は最長で製造日から 10 年。金属製品には特に設けていません。
ただし、下に記された「廃棄基準」の内一つ以上に該当する場合や、技術や基準の進歩を反映した新しい器具との併用に適さないと判断される場合は直ちに廃棄してください。
実際の耐用年数は様々な要因によって決まります。
例: 製品を使用する環境、使用の頻度、状況、ユーザーの能力、保存やメンテナンスの状況等

警告 : 以下にあげるような極めて異例な状況においては、1 回の使用で損傷が生じ、その後使用不可能になる場合があります : 化学薬品との接触、鋭利な角との接触、極端な高 / 低温下での使用や保管、大きな墜落や過荷重等

製品に損傷や劣化がないか定期的に点検してください
安全のため、使用前、使用中の点検に加え、専門家による綿密な点検を定期的に行う必要があります。綿密な点検は少なくとも 12 ヶ月ごとに行う必要がありますが、必要な頻度は、使用の頻度と程度、目的により異なります。また、各 PPE ユーザーが用具の使用履歴を把握できるようにするため、各ユーザーが専用の用具を持ち、未使用の状態から管理することをお勧めします。
用具をよりよく管理するため、製品ごとに点検記録をとることをお勧めします。
点検記録に含める内容 : 用具の種類、モデル、製造者または販売元の名前と連絡先、製造番号、識別番号、製造年、購入日、初めて使用した時の日付、ユーザー名、その他の関連情報 (例: メンテナンス、使用頻度、定期点検の履歴、点検日、コメント、点検者の名前と署名、次回点検予定日)
詳しい点検記録の見本は www.petzl.com/ppe を参照ください。

廃棄基準
以下のいずれかに該当する製品は以後使用しないでください :
- 使用前、使用中の点検、または定期点検において使用不可と判断された
- 大きな墜落を止めた場合や、非常に大きな荷重がかかった
- 完全な使用履歴が分からない
- プラスチック製品または繊維製品で、製造日から 10 年以上経過した
- 製品の状態に疑問がある

使用しなくなった製品は、以後使用されることを避けるため廃棄してください。

新しい技術および器具の発達
製品が、システムの中での使用に適さないと判断され、実際の耐用期間が過ぎる前に廃棄される場合の理由は様々です。
例 : 関連する基準、規格、法律の変更、新しい技術の発達、他の器具との併用に適しない等

改造と修理
ペツルによって認められた場合を除き、製品の改造および修理を禁じます。製品の機能を損ねる危険性があります。

注意
- ユーザーは、高所での活動が行える良好な健康状態にあることが必要です。警告 : 動きの取れない状態のまま吊り下げられると、ハーネスを着用していても重度の傷害や死に至る危険性があります。
- ユーザーは、この製品の使用中に問題が生じた際にすみやかに対処できるよう、レスキュープランとそれに必要となる装備をあらかじめ用意しておく必要があります。適切なレスキュー技術を身につけておく必要があります。
- 製品に記載されたマーキングが、使用期間中識別できる状態にあるよう注意してください。
- この製品を使用する作業方法が、地域の行政機関が定める規則や基準に適合していることを確認してください。
- 併用するすべての用具の取扱説明書もよく読み、理解してください。
- 取扱説明書は、製品と一緒にユーザーの手に届かなければなりません。この製品を販売する場合、販売者はその国の言語に訳された取扱説明書を添付しなければなりません。

保証
この製品には、原材料及び製造過程における欠陥に対し 3 年間の保証期間が設けられています。
ただし以下の場合は保証の対象外とします :
通常の磨耗や傷、酸化、改造や改変、正しくない保管方法、メンテナンスの不足、事故または過失による損傷、不適切または誤った使用方法による故障
ペツル及びペツル総輸入販売元である株式会社アルテリアは、製品の使用から生じた直接的、間接的、偶発的結果またはその他のいかなる損害に対し、一切の責任を負いかねます。

荷重テスト

落下率 1 : ロープの長さ 2 m、落下 2 m、重量 80 kg

∅ mm	ダイナミック ロープ	ロー ストレッチ ロープ
8	4,2 kN	4,5 kN
9	4,6 kN	5,1 kN
10,5	4,7 kN	5,4 kN
12,5		6,5 kN

落下率 0.5 : ロープの長さ 2 m、落下 1 m、重量 80 kg

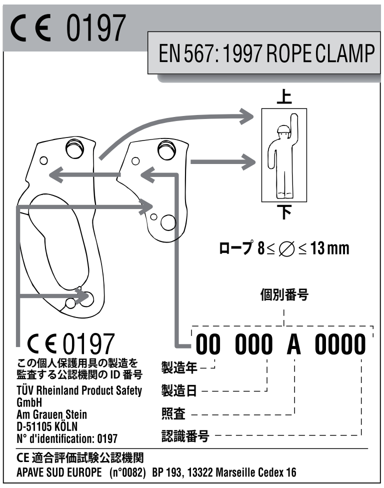
∅	ダイナミック ロープ	ロー ストレッチ ロープ
8	2,9 kN	4,2 kN
9	3,3 kN	4,4 kN
10,5	3,3 kN	5,2 kN
12,5		5,5 kN

静荷重テスト

∅	ダイナミック ロープ	ロー ストレッチ ロープ
8	4,2 kN	4,5 kN
9	5,4 kN	5,4 kN
10,5	6 kN	6 kN
12,5		6,5 kN

安全。外皮にも異常ありません。
安全ではありますが、外皮がダメージを受けます。
危険。ロープが破断する可能性があります。

以上の結果は、ヨーロッパ基準(EN1891, EN892, EN564)をクリアしたベアール製のロープを使用したものです。



国際アルピニスト協会

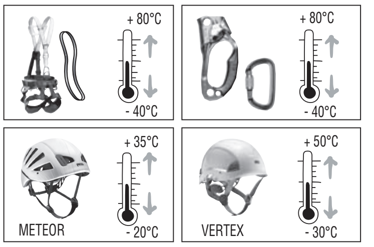
(JP) 製品名:	(JP) 購入日 :
(JP) ロットナンバー :	(JP) 初回使用日 :
(JP) 製造年 :	(JP) ユーザー名 :

(JP) メモ :

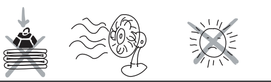
(JP) 3ヶ月毎に点検してください

(JP) 日付	OK	(JP) 点検内容

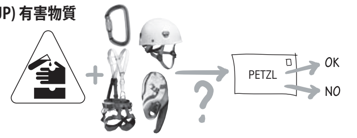
(JP) 気温



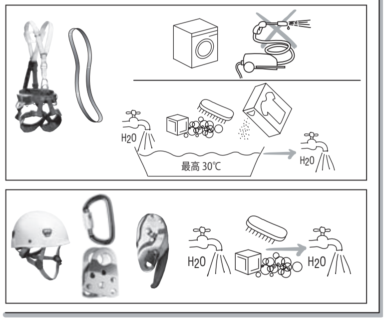
(JP) 保管方法



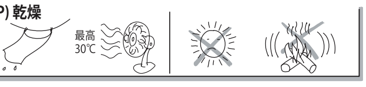
(JP) 有害物質



(JP) 洗浄



(JP) 乾燥



(JP) メンテナンス